

2026年6月2日

報道関係各位

GMOメディア株式会社

GMOメディアと大修館書店が共同開発 AIで「書く力」を育成する学習支援サービス「カクコト AI」を 2027年4月に提供開始

～2026年秋頃に体験版を公開予定、優先案内を受付中。

AIが記述式問題・小論文の出題から採点・添削までサポート～

GMOインターネットグループのGMOメディア株式会社（代表取締役社長：森 輝幸、以下 GMOメディア）は、長年にわたり国語の教科書を発行してきた株式会社大修館書店（代表取締役社長：鈴木一行、以下 大修館書店）と共同で、高等学校や教育機関向けに記述式問題・小論文に特化した学習支援 AI サービス「カクコト AI」を開発しました。記述式問題・小論文の出題から採点、添削までを AI がサポートする本サービスを、2027年4月より提供開始いたします。

「カクコト AI」は、国語教育で培われた評価ノウハウと、特許出願中の AI 採点技術により、生徒一人ひとりの「書く力（書くこと）」の育成を支援するとともに、教員の採点・評価にかかる負担軽減にも貢献します。

2027年4月の提供開始に先立ち、2026年秋頃に体験版を公開する予定です。現在、この体験版の優先案内について、学校関係者・教育機関を対象に申し込み受付を開始しています。

【サービス開始の背景】

The image shows a screenshot of the Kakukoto AI interface. At the top, it displays the logos for GMO MEDIA and 大修館書店. Below the logos, the text reads "AIで書く力を育成する" and "カクコトAI". A speech bubble on the right says "2027年4月 提供開始". The main content area shows a score of "18/20点" and a list of criteria with their respective scores: "テーマとの適合" (5/5), "構成・論理性" (5/5), "根拠・具体性" (3/5), and "表現・語彙" (4/5). Below this, there is a section titled "このテーマへのアプローチ候補" with a button for "教育連動型導入".

現在の大学入試では、一般選抜の個別学力検査で記述式問題を出題する選抜区分の割合は、国立大学ではほぼ100%（国立99.9%・公立98.4%）、私立大学でも約4割（37.1%）にのぼります（※）。しかし、記述・論述問題は客観的な視点での評価が欠かせず、現役の高校生が通常の教科書学習や自習だけで十分な対策を行うことは容易ではありません。さらに、採点・評価には時間がかかるため、生徒が記述・論述問題に向き合う学習機会を十分に確保しづらい状況も生じています。

(※) 令和6年度大学入学者選抜実態調査の結果(令和7年4月1日報道発表)より

(https://www.mext.go.jp/content/20250815-mxt_daigakuc02-000044214_14.pdf)

【「カクコト AI」とは】

(URL : https://www.taishukan.co.jp/item/kakukoto_ai/)

「カクコト AI」は、記述式問題・小論文に特化した学習支援 AI サービスです。出題から採点、添削までを AI が徹底サポートし、生徒一人ひとりの「書く力(書くこと)」の育成を支援します。

本サービスは、国語教育における豊富な知見と評価ノウハウを有している大修館書店と、採点装置、採点方法および採点プログラムに関する AI 特許を出願中(特願 2025-192632)の GMO メディアが共同開発しました。

基礎から応用まで体系的に問題を収録しており、記述・小論文に苦手意識のある生徒から難関校志望者まで、幅広い習熟度に対応しています。さらに AI が自動採点する機能も兼ね備えているため、採点負担と学習時間不足という現場の課題解消に貢献します。

カクコト AI サービス紹介動画 : <https://youtu.be/KEO8GwMJgxo>

高校生の「書くこと」をAIが徹底サポート。
先生の添削・評価の負担を最小化。

カクコトAI

カクコトAIのダッシュボードには、すべての問題の公開状況が一目で把握できます。公開中、下書き、公開終了の状況を確認し、必要な操作を行います。

小論文・レポート管理

公開状況	タイトル/テーマ	配信対象	提出済み
下書き	高齢化社会における医療費増大問題	12名	0名
公開中	選挙の投票年齢	21名	21名

あなたの回答

近年、若者の政治参加を促進する観点から、選挙の投票年齢を十六歳に引き下げる議論が活発化している。この問題については、メリットとデメリットの両面から検討する必要がある。

十六歳への引き下げには、いくつかのメリットが考えられる。まず、若者の政治的関心を早期に高めることができる点である。高校在学中に選挙権を得ることで、学校教育と実際の政治参加を結び、実践的な主権者教育が実現する。また、少子高齢化の進展を政策に反映させやすくなること、若者の意見を政策に反映させやすくなること、将来に引きやすくなる点、教育や雇用など、将来の課題を解決する点、若者の政治参加が活発化し、社会の発展に貢献する点、若者の政治参加が活発化し、社会の発展に貢献する点、若者の政治参加が活発化し、社会の発展に貢献する点。

合計得点 18/20点

- テーマとの適合 5/5
- 構成・論理性 5/5
- 根拠・具体性 3/5
- 表現・語彙 4/5

このテーマへのアプローチ候補

- 教育運動型導入論

■ 体験版優先案内の申し込みを受付中

「カクコト AI」では、2026 年秋頃に公開を予定している体験版について、学校関係者・教育機関向けに優先案内の申し込み受付を開始しています。優先案内では、サービスの詳細や体験版に関する情報を順次ご案内する予定です。

優先案内をご希望の方は、以下の URL よりお申し込みください。

優先案内申し込み URL :

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScJbCzm8V0AcvaY7_6RWA9T1Xi5qPy2-NUvdQ_B60V-rAuKaA/viewform

■主な特徴

教科書発行社と共同開発。高い信頼性と豊富な問題ラインナップ

大修館書店の国語教科書に対応しています。係り受けや接続表現の使い分けといった基礎から、大学入試レベルの小論文まで、幅広い問題を収録しています。

指導スタイルに合わせて選べる2つの採点モード

1. 教員サポートモード

AIが採点・評価の「たたき台」を作成。先生がAIの案を確認・編集してから生徒へ返却。先生ならではの視点を取り入れることや、個別指導が可能です。

2. AI自動採点モード

生徒が解答を提出すると同時に、AIの採点結果を即時返却。すぐにフィードバックがもらえるため自習時間の効率化が可能です。

生徒の意欲を高める学習画面

キーボード入力に加え、手書き文字認識にも対応。

また、過去の履歴や成長度合いをグラフで可視化できます。

出題から生徒管理までオンラインで一元化

クラス全体の取り組み状況、個別の評価をリアルタイム確認でき、問題の配信、提出期限の管理もすべてオンライン上で完結可能です。

<サービス概要>

サービス名	カクコト AI
提供開始時期	2027年4月 体験版：2026年秋頃提供開始予定
URL	https://www.taishukan.co.jp/item/kakukoto_ai/

【GMOメディアについて】(URL: <https://www.gmo.media/>)

GMOメディアは、創業以来インターネット上で自社開発・自社運営のサービス群であるメディア事業を中心に展開しています。現在はゲームプレイでポイント獲得ができる「かんたんゲームボックス byGMO」などのポイント関連事業と、プログラミング教育ポータル「コエテコ byGMO」と美容医療チケットサイト「キレイパス byGMO」の業界特化型事業を展開しています。

さらに、ソリューション事業としてメディア運営で培ったノウハウを基にポイントサイトの構築・運営を支援する「GMO リピータス」や成果報酬型の広告配信を行うアフィリエイトサービスプロバイダ「アフィタウン byGMO」、訴求力のあるギフトキャンペーンを簡単に実施できるギフトキャンペーンツール「ギフコ byGMO」など提携パートナーの収益化のサポートも行っています。

※本件による、業績への影響は軽微です。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO メディア株式会社
コーポレート部 広報担当 黒田
TEL : 03-5456-2626
E-mail : ir@gmo.media

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO メディア株式会社
事業開発本部 教育サービス事業部
TEL : 03-5456-2626
E-mail : coeteco-support@gmo.media

- GMO インターネットグループ株式会社
グループ広報部 PR チーム 小犬丸
TEL : 03-5456-2695
お問い合わせ : <https://group.gmo/contact/press-inquiries/>

【GMO メディア 株式会社】 (URL : <https://www.gmo.media/>)

会 社 名	GMO メディア株式会社 (東証グロース市場 証券コード : 6180)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 森 輝幸
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ■メディア事業 ■ソリューション事業
資 本 金	7 億 6,197 万円

【GMO インターネットグループ株式会社】 (URL : <https://group.gmo/>)

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社 (グループ経営機能) <ul style="list-style-type: none"> ■インターネットインフラ事業 ■インターネットセキュリティ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2026 GMO Media, Inc. All Rights. Reserved.